

広報

# ふじ

NO. 196

発行・富士市役所  
富士市永田61-1

編集・

企画調整部広報広聴課  
【毎月5日と25日発行】

51.1.25 発行



今泉公民館でかるた大会・小学校低学年は絵かるた、高学年はいろはかるた、中学生以上が百人一首



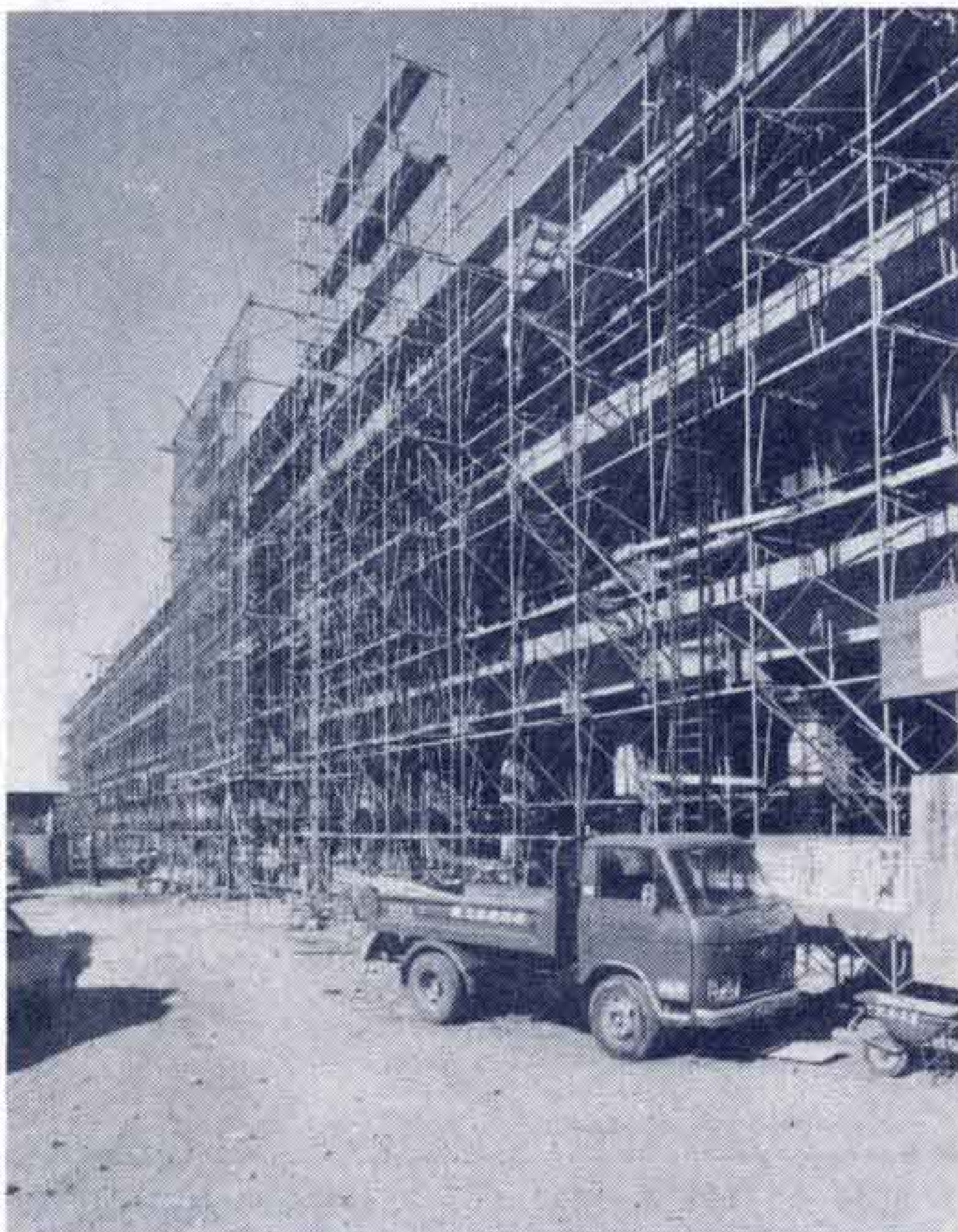
▲ 富士市公設地方卸売市場

4月開設を目ざして工事を進めています。新鮮な品物を豊富に数多くそろえ、市民に安定した価格で供給できるような体制づくり。



ただいま工事申

現在市内で行っている公共事業は、市民の暮らしと安全を守るための事業をはじめ、教育施設、保養施設など数多くあります。そこで、近く完成するものなど、進行状況を紹介いたします。



▲ 今泉小学校新校舎建設工事  
 公害防止事業の一環として建設を進めている今泉小学校、五月には完成。



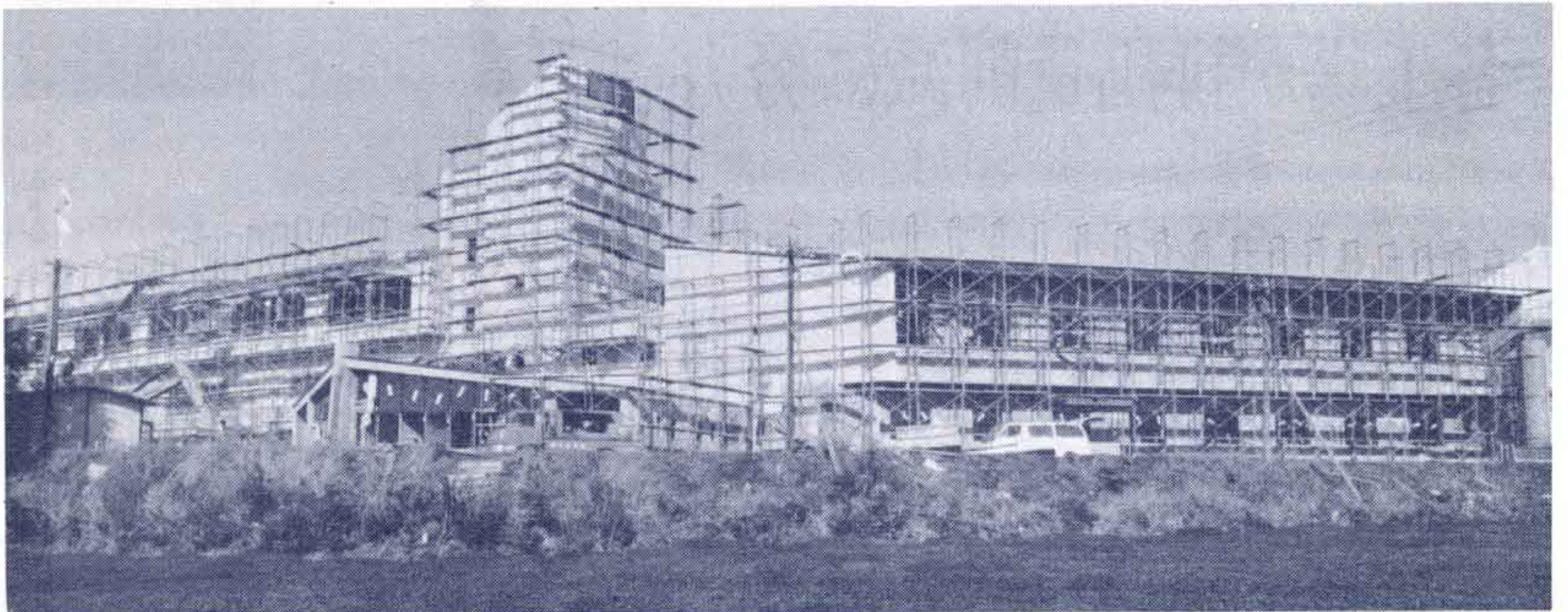
▲ 総合運動公園野球場

第1清掃工場の上段に建設しています。内外野に観覧席を設置、7月から使用していただく予定です。



◀ 海岸浸蝕防止工事

住民の安全を守るため、強力に浸蝕防止工事を実施。



▲ 勤労総合福祉センター

勤労者の宿泊研修施設で、結婚式場もあります。完成は4月中旬で、下旬にはオープンの予定。

▶ 田子浦伝法線陸橋工事

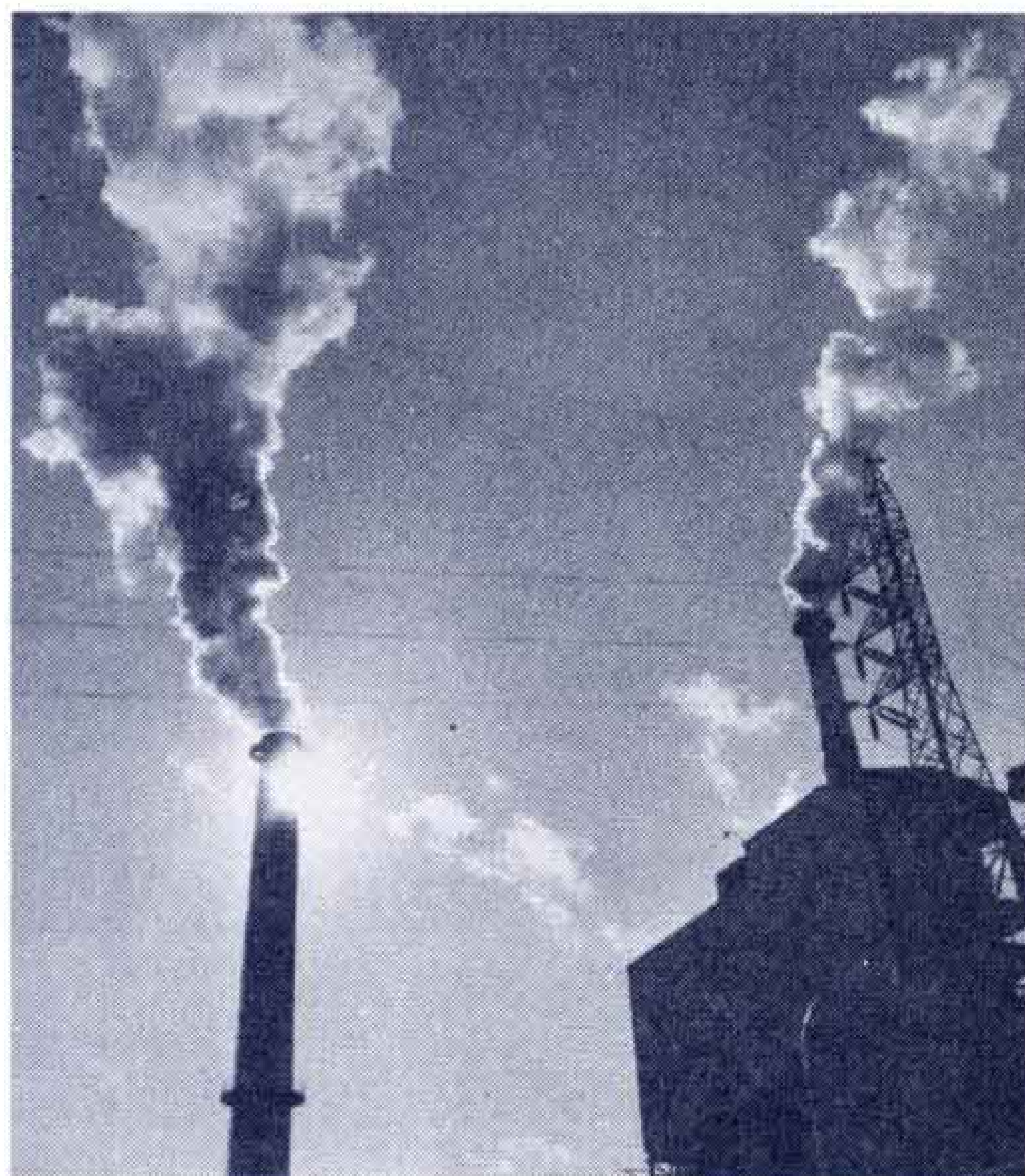
田子浦地区と東名富士インターを結ぶ田子浦伝法線。部分的に使用していますが、現在東海道線をまたぐ陸橋工事を実施。



# 富士503計画の成果現われた

昨年12月26日、環境庁から全国の主要都市で実施した昭和49年度の大気汚染状況調査結果が発表されました。これによると市内の二酸化硫黄の時間平均値は、今泉小学校0.042PPM、富士保健所、鷹岡公民館が0.036PPMと全国でも汚染のひどい上位5位までに含まれていました。

しかし、富士市は昨年4月から、全国でも初めてといわれる企業別に硫黄酸化物の削減率を決めた総量規制(富士503計画)を実施しており、6~8カ月間の測定で前年度を大幅に下回っていることがわかりました。そこで、富士503計画が実施されてからの測定結果と49年度を比較してみました。



## 各工場が排出量削減に努力

昭和49年度と50年度の二酸化硫黄濃度測定結果と環境基準対比は下の表のとおりです。この測定結果は、昭和50年度が半期の測定値であり、正確な前年度対比はできないものの大幅な減少があるものと考えられます。

前半期において環境基準を達成し

ていないのは、市内9測点のうち吉原第三中学校、勤労青少年会館、今泉小学校の3測点です。しかし、昭和49年度にはまったく基準達成が見られなかったことから考えると、富士503計画の成果が現われてきているものと思われま

す。このことについては富士503計画

の実施により各工場とも一斉に排出量を削減した結果であり、とくに次の点が考えられます。

- (1) 鷹岡地区では中小11工場が共同ボイラー事業を完成させ煙突を1本にして排煙脱硫装置を付けたこと。
  - (2) 今泉地区を中心に23の工場が工業ガスに切替えたこと。
  - (3) 大手工場がほとんど排煙脱硫装置を付けると同時に煙突も新設し煙突実高が変わったこと。
  - (4) 中小企業ではほとんどがイオウ分0.5%以下の良質な重油に切り換えたこと。
- などが考えられます。

二酸化硫黄濃度測定結果及び環境基準対比

| 測定局名    | 時間平均値 (PPM) |             | 環境基準対比<br>0.04PPMをこえた日数と割合 |      |                         |      |
|---------|-------------|-------------|----------------------------|------|-------------------------|------|
|         | 49年         | 50年         | 49年<br>日数                  | %    | 50年 <sup>※3</sup><br>日数 | %    |
| 富士保健所   | 0.036       | ※1<br>0.028 | 122                        | 38.0 | 1                       | 0.7  |
| 吉原第3中学校 | 0.034       | ※1<br>0.032 | 89                         | 27.1 | 18                      | 11.0 |
| 勤労青少年会館 | 0.035       | ※1<br>0.024 | 108                        | 31.4 | 6                       | 3.8  |
| 元吉原中学校  | 0.031       | ※1<br>0.025 | 76                         | 22.2 | 0                       | 0    |
| 富士中学校   | 0.029       | ※2<br>0.026 | 41                         | 12.8 | 3                       | 1.9  |
| 鷹岡公民館   | 0.036       | ※2<br>0.022 | 112                        | 35.6 | 0                       | 0    |
| 大淵中学校   | 0.026       | ※2<br>0.018 | 19                         | 6.6  | 0                       | 0    |
| 今泉小学校   | 0.042       | ※2<br>0.030 | 173                        | 56.9 | 7                       | 4.6  |
| 伝法公民館   | 0.035       | ※2<br>0.022 | 91                         | 30.0 | 0                       | 0    |

〔注〕 ※1 4月~9月までの期間平均値 ※2 4月~12月までの期間平均値  
 ※3 4月~9月までの環境基準対比  
 49年は4月~50年3月までの期間平均値及び環境基準対比

### 環境基準達成に

### いま一歩

従って市内の環境濃度は昭和49年度以前と比較すると著しく減少するものと見られ、後期の測定結果により環境基準達成にいま一歩という現状になると思われます。

# 消費生活モニター 学用品の試買調査

目  
立  
つ  
価  
格  
の  
バ  
ラ  
ツ  
キ

入学期を前に学用品の値上がりが心配されるため、富士市消費生活モニターが、学用品の試買調査を実施しました。調査は1月15日から17日までの3日間に市内で学用品を扱っている小売店51店舗と小学校の購売10カ所で行いました。

調査品目は、クレヨン、水彩絵具、色鉛筆、鉛筆、ノート、下敷、セロテープ、のり、墨汁サインペンの10品目で、同一メーカー同一製品を元にしたこの調査結果がまとまりましたが、小売店では

・クレヨン(12色紙箱入) 270円—150円、平均234.6円

- ・水彩絵具(12色紙箱入) 450円—330円、平均438.5円
- ・色鉛筆(12色ブリキケース入) 400円—500円 平均484円
- ・鉛筆(HB1ダース) 170円—240円、平均225.9円
- ・ノート(40枚6号) 120円—80円、平均102円
- ・サインペン50円—70円、平均66.8円
- 同じ品目を学校購売でみると
- ・クレヨン240円—210円、平均220円
- ・水彩絵具450円—350円、平均375.7円
- ・色鉛筆(12色紙箱入) 300円—200円、平均250円

- ・鉛筆240円—180円、平均215円
- ・ノート(30枚) 55円—50円、平均51.7円
- ・サインペン50円—45円、平均48.3円

などで、直接比較のできないものもありますが、平均価格は小売店に比べ学校の購売がわずかに下回っています。しかし、価格の高低差は、いずれも大きくバラツキが目立っています。

## 見てくれより 中味で

また、色鉛筆の場合、ブリキケースと紙箱で200円も差があり、内容は同じでも見た目がよければというものもあります。しかし、ブリキケースは一度買えば長持ちしますからつめかえて使うなど工夫すれば、高い物を買わないでも済みます。

学用品に限らず言えることは同じ商品でも見てくれより内容を良く見比べて買うことがムダを省くこととなります。

なお、この調査結果は、2月11日～12日に吉原市民会館で開く「みんなで考えよう 暮らしの中の消費者展」に展示するとともに、学用品の価格協力を結ぶ資料にされます。



【試買した学用品の値段を調べるモニター】

みんなで考えよう 暮らしの中の消費者展 2月11日～12日 吉原市民会館

## 無料特設人権相談所

日時 2月10日 午前10時～午後3時  
会場 富士公民館  
日時 2月13日 午前10時～午後3時  
会場 吉原市民会館



# 年末のゴミ収集について

横山良喜 (30才・原田)

昨年12月5日発行のお知らせ広報によると、年末年始のゴミ収集の日程に、不燃物収集はなんの表示もありませんでしたが、地区によっては23日で終わっているようです

しかし、一般の家庭では28日か29日にススはらいなどをして、新しい年を迎えると思います。私もそうでしたが、その時に燃えないゴミもたくさんでました。燃えるゴミと同時に、燃えないゴミの収集も一考をお願いします。

## 燃えるゴミを重点に収集

年末のゴミ収集については、12月5日発行のお知らせ広報で、市民にPRするとともに、市内全域のゴミ集積場所へ年末特別ゴミ収集の日程を掲示しました。特に今回の年末年始は12月28と1月4日が日曜日となり、2日余分に休暇になりましたので、平常通りの収集では、この間約10日間も、集めることができない地区が出てしまいます。

燃えないゴミはともかく、燃えるゴミは残飯などのため悪臭が出る関係から、不燃物収集を12月27

に終了し、この収集車を燃えるゴミの収集にふりかえました。したがって、年末の特別ゴミ収集として12月29日と30日の2日間に、月・火・水の収集区域を集めることになり、お知らせ広報やゴミ集積場所にビラを掲示してPRをしました。

この結果、一部汚れた集積場所も見受けられましたが、大部分の集積場所は、きれいな

正月を迎えたものと思います。

(環境部清掃管理課)



【年末には渡辺市長もゴミ収集】

## 2月の

# 当直回

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださいと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

### ■2月1日

外科 中央病院(本市場 61-8800)  
吉田医院(石坂 51-2515)  
産婦人科 長野医院(柚木 61-1907)

### ■2月8日

外科 宮下医院(平垣 61-0376)  
芦川病院(中央町2 52-2480)  
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

### ■2月11日

外科 松本医院(久沢東 71-2570)  
米山病院(吉原4 52-3060)  
産婦人科 鈴木医院(今泉1 52-1712)

### ■2月15日

外科 中央病院(本市場 61-8800)  
秋山医院(富士岡 34-0075)  
産婦人科 山下医院(西国窪52-0611)

### ■2月22日

外科 戸田医院(横割1 63-5213)  
芦川病院(中央町2 52-2480)  
産婦人科 柵山医院(厚原 71-4771)

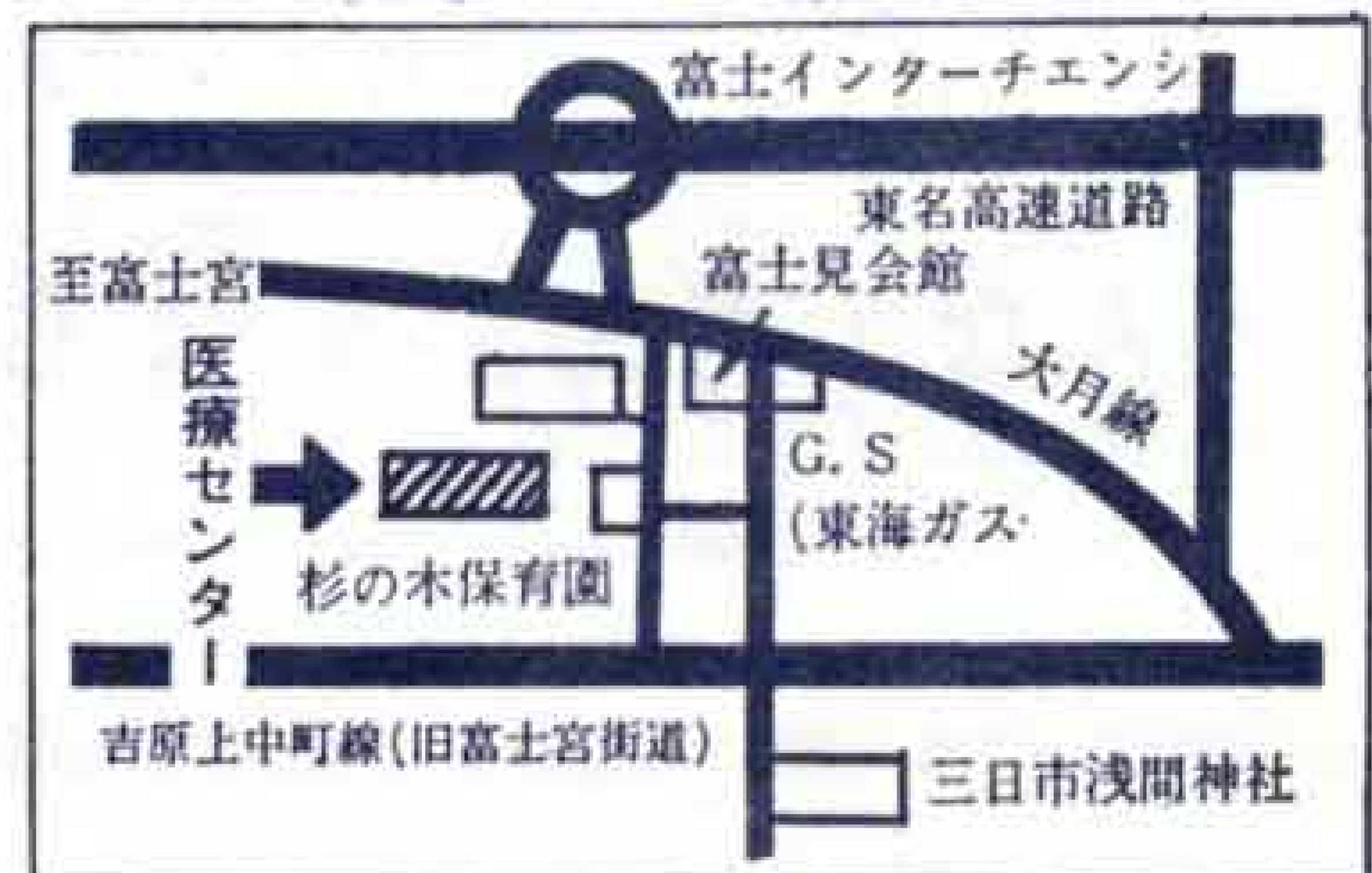
### ■2月29日

外科 榎村医院(柚木 63-8881)  
米山病院(吉原4 52-3060)

産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

### 医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。



吉原本町通りを  
整然とパレード

## 出初式で消防機動力をひろう



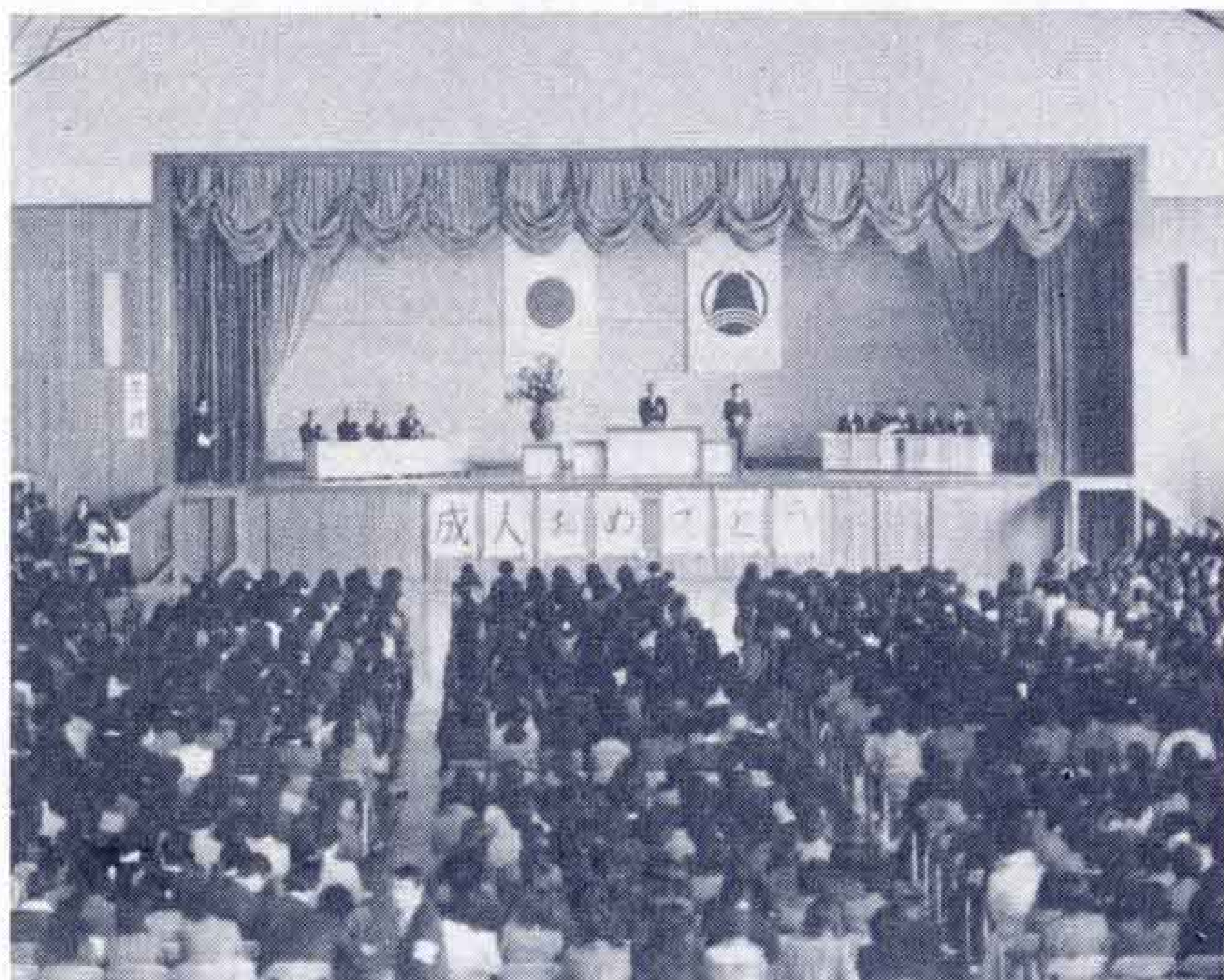
放水を行う事業所消防隊

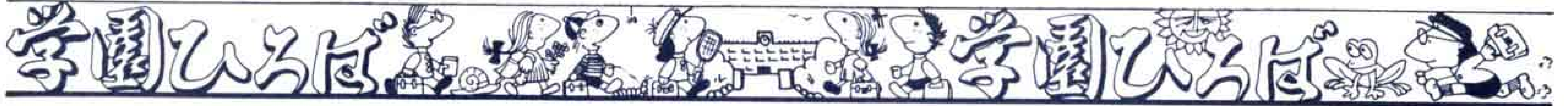


救助演技を行うレインジャー部隊

## 2955人が大人の仲間入り

1月15日の成人の日に、全国で167万人が大人の仲間入りをしました。富士市でも2955人（男1573人女1382人）が成人の日を迎え、富士見高校体育館で成人式を行いました。また、市内の手話サークルの方が、耳の不自由な成人者も式典に参加しようと呼びかけ、自分達で手話通訳を行いました。





江戸時代の農民は、自分達の作った農作物の半分くらいは、年貢として納めなければなりません。ですから、その日その日を食べていくのがやっとの生活でした。

今から270年くらい前のこと、ひでりが続いて作物がなにもとれない時がありました。食べるものがなくて農民は大変苦しんでいました。

ところが、作物はなにもとれなくても年貢は決ったとおりに納めなくてはなりません。落合、中野、三ツ倉片倉の4つの村では「どうしたらいい

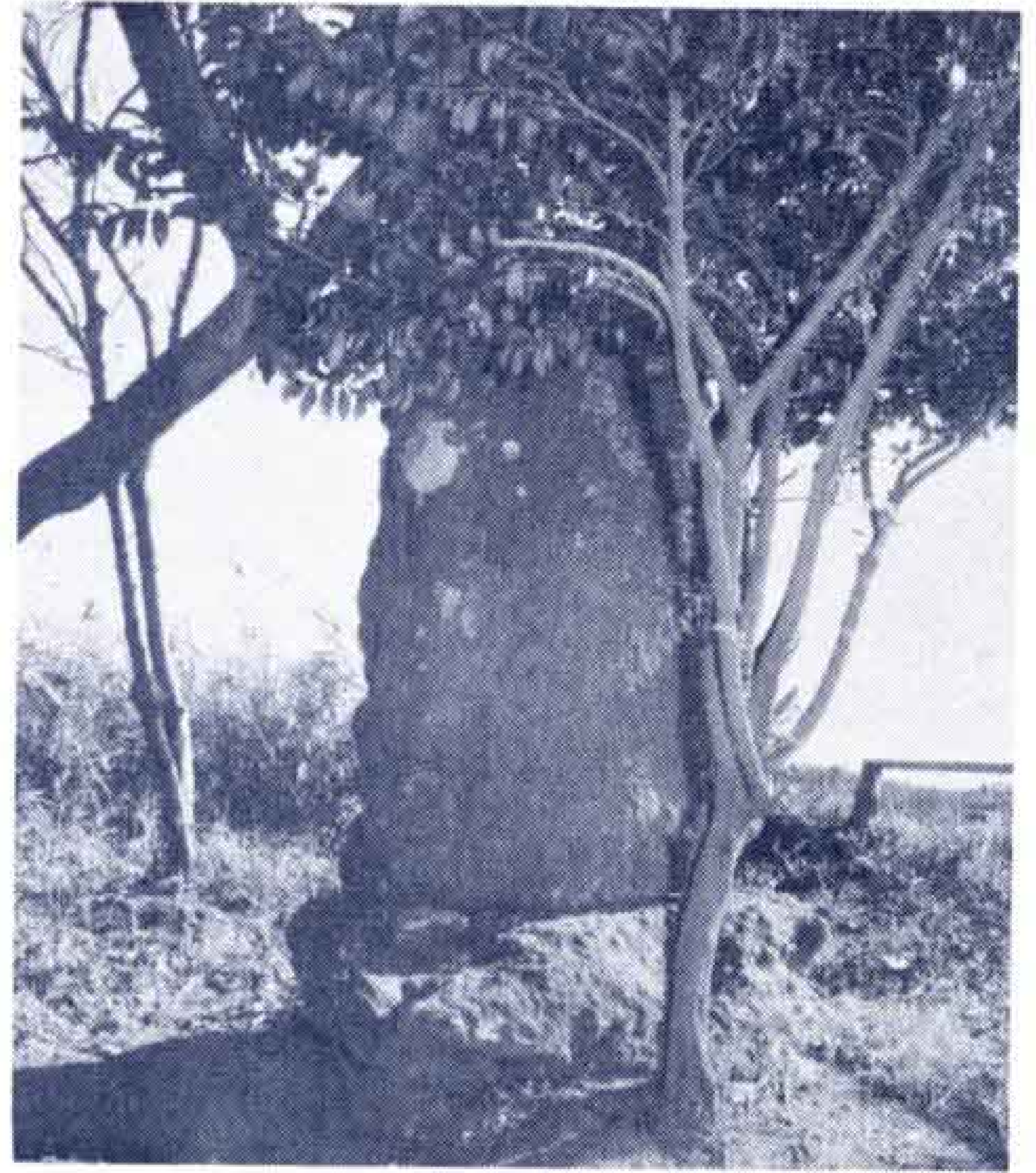
いんだらう」とみんなで毎日話し合っていました。

農民の苦しい生活をみかねた落合村の名主新右衛門は「どうか年貢をまけて下さい」と領主にうったえましたが、いくらお願いしても領主はきき入れてくれません。

このうちは直接幕府にうったえようと、新右衛門は村を出ました。ところが、いく日たっても新右衛門は帰ってきません。1カ月くらいたってから、江戸から死体を引き取りにこいと知らせがありました。

上下の関係のきびしいこの時代は農民が自分の意見をうったえることはゆるされないことだったのです。新右衛門の死をかけたのうったえでやっとな村の年貢は軽くなりました。

その後、4つの村の人達は新右衛門の家の近くに石ひをたてました。石ひの下に、血判書やたんがん書など帳面をうめたので、今でも帳塚さんと呼んでいます。



【新右衛門を祭った落合の帳塚】

## 楽しいタコ上げ大会

タコ、タコ上がれ、天まで上がれ。みんなお正月にはタコ上げをしましたかー。

神戸小学校では始業式のあと、近くの富士見台団地でタコ上げ大会を行いました。タコは冬休みに造ったもので、人気のある洋タコ、1疋以上もある角タコ、なかには家の形をしたタコもありました。

あいにく風がなく、上げるのに苦労していましたがみんな楽しいひとときを過ごしました。



## どんどん焼き

1月14日を中心に各町内で「どんどん焼き」が行われました。どんどん焼きは、正月のしめ飾りや、書初めを焼く行事で、その火で焼いたダンゴを食べると、病気をしない、虫歯にならない、書初めが高くと上がると習字が上手になるなどといわれています。

このへんではどとどん焼きと呼んでいます。さぎちょろ、さいとやき、ほっけんぎょう、ほちょじなどと呼ぶところもあります。